



2020年10月2日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ ス キ  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 村 田 浩 司  
 (コード番号：2987 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 柏 村 雄  
 (TEL 03-6812-9330)

## 東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2020年10月2日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2020年9月期(2019年10月1日～2020年9月30日)における当社の業績予想は、次のとおりであり、また最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

## 【個別】

(単位:百万円、%)

項目	決算期	2020年9月期 (予想)		2020年9月期 第3四半期累計期間 (実績)		2019年9月期 (実績)		
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率		
売 上 高		6,993	100.0	36.6	5,007	100.0	5,118	100.0
営 業 利 益		568	8.1	33.8	364	7.3	424	8.3
経 常 利 益		505	7.2	52.9	319	6.4	330	6.5
当期(四半期)純利益		338	4.8	52.6	218	4.4	221	4.3
1株当たり当期 (四半期)純利益		71円91銭			47円44銭		69円32銭	
1株当たり配当金		未定			—		0円00銭	

- (注) 1. 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2019年9月期(実績)及び2020年9月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 2020年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数により算出しております。
4. 2020年6月12日付で普通株式2.5株につき1株の割合で株式併合を行っております。上記では、2019年9月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。

## 【2020年9月期業績予想の前提条件】

### (1) 当社全体の見通し

当社は、「タスキで世界をつなぐ～革新的なイノベーションで社会のハブになる～」を企業理念に掲げ、ライフプラットフォームとして暮らしの住まいを提供するLiveMana事業を積極的かつ効率的に推進しました。また、DayPay事業において、FinTechを活用した企業の従業員向け福利厚生のアウトソーシングサービスである「タスキDayPay」を2019年10月1日に開始し、登録人数を積み上げております。

このような状況の下、当事業年度の業績は、売上高6,993百万円（前期比36.6%増）、営業利益568百万円（前期比33.8%増）、経常利益505百万円（前期比52.9%増）、当期純利益338百万円（前期比52.6%増）を見込んでおります。

なお、2020年5月28日の取締役会におきまして、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等の影響を踏まえ予算修正を決議しており、当該業績予想は、2019年10月から2020年4月までの実績値に2020年5月から2020年9月までの予想値を合算して算出しております。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染による影響が世界的に継続しております。当社では、LiveMana事業においては、緊急事態宣言中の外出自粛要請により、一時的に事業用地の仕入活動が制限されることとなりましたが、現時点においては、感染拡大前とほぼ同様の活動を行っております。また、かねてより進行中のプロジェクトや契約済のプロジェクトに重要な影響を及ぼした事例はありませんでした。一方、DayPay事業においては、営業活動が制限されたこと等により、影響を及ぼすこととなりました。

当該業績予想は、以上の新型コロナウイルス感染症による影響を織り込み、2020年5月の緊急事態宣言解除後、2020年6月より徐々に経済活動が再開されるものと想定して策定しております。今後の状況により、緊急事態宣言が再度発令されるなど、経済活動が制限される場合には、当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。今後開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

### (2) 売上高

#### <LiveMana事業>

LiveMana事業の収益は、主に新築投資用IoTレジデンスや開発用地の販売による不動産販売高、新築投資用IoTレジデンス及び開発用地の販売で培ったマネジメントノウハウを活かした業務受託収入や顧客紹介料収入等のコンサルティング収入から構成されます。

第3四半期までの実績値は、積極的かつ効率的に販売活動を行った結果、23件の引渡し（前年同期は15件の引渡し）を行い、売上高は5,005百万円となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、引渡件数増（前期比3件増の30件）により、売上高は6,991百万円（前期比36.6%増）を見込んでおります。なお、不動産販売高は、物件を不動産オーナーや企業に引渡しをした時点で収益を認識しており、事業年度及び四半期ごとに業績を認識した場合、物件の引渡し時期に伴い、期ずれなどの業績偏重が生じる可能性があります。2019年9月期の第4四

半期は12件の引渡しがあったのに対し、2020年9月期の第4四半期は7件の引渡しを予定しております。2020年9月期通期に見込む引渡件数30件は、全て売却契約済みであり、工期の進捗等に左右される案件もないことから、確度は高いものと認識しております。

#### <DayPay事業>

DayPay事業の収益は、主に会員企業の従業員が利用する給与前払額に応じた従量課金モデルであります。

第3四半期までの実績値は、登録人数969人、月間利用回数69回となり、売上高は1百万円となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、期末時点での登録人数3,012人、月間利用回数150回を前提とし、売上高は2百万円を見込んでおります。第3四半期までの実績においては、登録人数および月間利用回数が計画を下回って推移しており、第4四半期においても急激な増加は見込めないものの、1回あたりの立替金額が計画を上回っていることから、売上高としては、計画どおりとなるものと見込んでおります。

以上により、第3四半期までの実績値は、全体の売上高は5,007百万円となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、全体の売上高は売上高6,993百万円（前期比36.6%増）を見込んでおります。

### (3) 売上原価、売上総利益

#### <LiveMana事業>

主に土地取得費、土地取得に伴う仲介手数料、解体費用、開発費、建設会社への請負代金等から構成されております。予算作成時点で仕入決済済み、または仕入契約済みのプロジェクトについては、各プロジェクトの個別の事業計画に基づき積み上げを行っております。期中に仕入予定のプロジェクトについては、過去実績に基づき計画を策定しております。

第3四半期までの実績値は、4,051百万円（原価率80.9%）となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、増収に伴い前期比39.4%増の5,550百万円を見込んでおります。また、原価率は77.8%から79.4%と1.6ポイントの上昇を見込んでおります。これは、前期に原価率の低い案件が多くあった反動によるものです。

#### <DayPay事業>

主に減価償却費、システム保守料、サーバー費等から構成されており、科目ごとに見積もりの積み上げを行っております。

第3四半期までの実績値は、8百万円（原価率613.0%）となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、13百万円を見込み、原価率は626.4%を想定しております。

以上により、第3四半期までの実績値は、全体の売上原価は4,059百万円（原価率81.1%）、売上総利

益は947百万円となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、全体の売上原価は5,564百万円（前期比39.7%増）、売上総利益は1,429百万円（前期比25.9%増）を見込んでおります。

#### （4）販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費については、主に、人件費、販売手数料、支払手数料及び租税公課等により構成されております。人件費は、人員計画にしたがって予算を策定しております。販売手数料は、プロジェクト毎に積み上げて算出してしております。支払手数料及び租税公課等の経費については、実績値をもとに科目別に増減要因等を分析し、積み上げ方式にて算出してしております。

第3四半期までの実績値は、販売費及び一般管理費は583百万円、営業利益は364百万円となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、人件費、広告宣伝費、租税公課等の増加を見込むことから、販売費及び一般管理費は860百万円（前期比21.1%増）、営業利益は568百万円（前期比33.8%増）を見込んでおります。

#### （5）営業外損益、経常利益

第3四半期までの実績値は、営業外収益として、違約金収入21百万円等の合計25百万円を計上しております。また、営業外費用として主に支払利息46百万円、株式交付費14百万円、支払手数料4百万円等の合計70百万円を計上しており、経常利益は319百万円となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、第4四半期では特段の営業外収益を見込んでおらず、営業外収益合計は25百万円を、営業外費用については、主に支払利息64百万円、株式交付費14百万円、支払手数料8百万円等の合計88百万円を見込んでおります。以上の結果、経常利益は505百万円（前期比52.9%増）を見込んでおります。

#### （6）特別損益、当期純利益

第3四半期までの実績値は、特別利益及び特別損失は発生せず、法人税等を差し引き、四半期純利益は218百万円となりました。

2020年9月期通期の見込みにつきましては、第4四半期においても特別利益及び特別損失の発生は見込んでおらず、法人税等を差し引き、当期純利益は338百万円（前期比52.6%増）を見込んでおります。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている当社の当期業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月2日

上場会社名 株式会社タスキ 上場取引所 東  
 コード番号 2987 URL https://www.tasukicorp.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 柏村 雄 TEL 03 (6812) 9330  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の業績 (2019年10月1日~2020年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,007	—	364	—	319	—	218	—
2019年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	47.44	—
2019年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2019年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第3四半期の数値及び2020年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2020年6月12日付で普通株式2.5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株あたり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株あたり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	4,960	2,043	41.2
2019年9月期	3,854	699	18.2

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,043百万円 2019年9月期 699百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,993	36.6	568	33.8	505	52.9	338	52.6	71.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年6月12日付で普通株式2.5株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、通期の1株あたり当期純利益については、当事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	5,000,000株	2019年9月期	3,200,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	—株	2019年9月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	4,608,774株	2019年9月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、2020年6月12日付で普通株式2.5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。
2. 当社は、2019年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間は、IoTレジデンス、スマートホテル及び認可保育園等の開発、販売及び運営を手掛けるLiveMana事業を積極的かつ効率的に推進するとともに、FinTechを利用した給与の日払い、週払いのプラットフォームを提供する「タスキDayPay」のサービスを2019年10月1日に開始しました。その結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高は50億7百万円、営業利益は3億64百万円、経常利益は3億19百万円、四半期純利益は2億18百万円となりました。

なお、セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (LiveMana事業)

積極的かつ効率的に販売活動を展開し、23件の引渡しを行いました。この結果、売上高は50億5百万円、営業利益は6億39百万円となりました。

#### (DayPay事業)

契約件数の積上げに注力しましたが、事業立上げに伴う積極的な広告宣伝等の先行投資により、営業損失は41百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ11億6百万円増加し、49億60百万円となりました。流動資産は前事業年度末と比べ10億93百万円増加の47億77百万円、固定資産は前事業年度末と比べ12百万円増加の1億82百万円となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が前事業年度末と比べ10億67百万円増加、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が前事業年度末と比べ61百万円増加したことによります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ2億37百万円減少し、29億17百万円となりました。流動負債は前事業年度末と比べ6億79百万円減少の18億88百万円、固定負債は前事業年度末と比べ4億42百万円増加の10億29百万円となりました。

流動負債の主な減少要因は、工事未払金が前事業年度末と比べ21百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が前事業年度末と比べ6億28百万円減少、未払法人税等が前事業年度末と比べ60百万円減少、賞与引当金が前事業年度末と比べ13百万円減少したことによります。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が前事業年度末と比べ4億19百万円増加したことによります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比べ13億43百万円増加し、20億43百万円となりました。増加要因は、第三者割当増資により、資本金及び資本準備金が前事業年度末と比べ合計で11億25百万円増加したほか、四半期純利益の計上により、利益剰余金が前事業年度末と比べ2億18百万円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想については、本日開示いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想については、本資料の日付時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。



2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	574,591	1,642,340
販売用不動産	760,076	1,341,876
仕掛販売用不動産	2,236,281	1,716,063
原材料及び貯蔵品	369	711
前渡金	63,500	26,575
前払費用	9,142	24,794
その他	40,263	25,387
流動資産合計	3,684,224	4,777,748
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,770	13,770
減価償却累計額	△1,031	△1,651
建物(純額)	12,738	12,118
車両運搬具	7,112	7,112
減価償却累計額	△3,026	△4,047
車両運搬具(純額)	4,086	3,065
工具、器具及び備品	6,136	6,136
減価償却累計額	△2,314	△3,187
工具、器具及び備品(純額)	3,822	2,949
土地	57,625	63,005
リース資産	6,040	6,040
減価償却累計額	△1,610	△2,516
リース資産(純額)	4,429	3,523
建設仮勘定	1,990	7,536
有形固定資産合計	84,692	92,199
無形固定資産		
商標権	330	305
ソフトウェア	19,320	28,475
リース資産	2,493	1,983
その他	10,829	4,205
無形固定資産合計	32,972	34,969
投資その他の資産		
出資金	7,240	7,240
長期前払費用	974	3,434
繰延税金資産	18,641	13,456
その他	25,757	31,571
投資その他の資産合計	52,614	55,702
固定資産合計	170,279	182,871
資産合計	3,854,503	4,960,619

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	34,058	55,495
短期借入金	604,676	598,400
1年内返済予定の長期借入金	1,698,964	1,070,884
リース債務	2,022	2,048
未払金	43,932	44,704
未払費用	2,869	3,074
未払法人税等	115,438	54,521
前受金	40,500	44,000
預り金	2,602	6,314
前受収益	2,106	2,436
賞与引当金	20,158	6,296
その他	634	—
流動負債合計	2,567,962	1,888,174
固定負債		
長期借入金	541,932	961,739
リース債務	5,569	4,029
退職給付引当金	12,668	15,411
その他	26,681	47,934
固定負債合計	586,851	1,029,114
負債合計	3,154,814	2,917,289
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,000	920,000
資本剰余金	100,000	605,000
利益剰余金	299,689	518,330
株主資本合計	699,689	2,043,330
純資産合計	699,689	2,043,330
負債純資産合計	3,854,503	4,960,619

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,007,224
売上原価	4,059,729
売上総利益	947,494
販売費及び一般管理費	583,262
営業利益	364,232
営業外収益	
受取利息	785
違約金収入	21,550
その他	3,173
営業外収益合計	25,509
営業外費用	
支払利息	46,230
支払手数料	4,530
上場関連費用	3,333
株式交付費	14,919
その他	1,387
営業外費用合計	70,401
経常利益	319,340
税引前四半期純利益	319,340
法人税、住民税及び事業税	95,513
法人税等調整額	5,185
法人税等合計	100,698
四半期純利益	218,641

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期累計期間において、(株)東京ウエルズ、Sanyoホールディングス(株)、渡邊裕、(株)ジープラン、窪田芳郎、鈴木純子、京東(株)、柳澤利明、(株)飛鳥新社、(株)アスリート、土井尚道、佐々木剛、菊地博巳、山岸大、松下義晴、(株)ジェイ・エス・ビー、プロパティエージェント(株)、古川淳、村田浩司、米良浩幸、柏村雄及び朝井隆夫から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が620,000千円、資本準備金が505,000千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が920,000千円、資本剰余金が605,000千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	LiveMana事業	DayPay事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,005,817	1,406	5,007,224	—	5,007,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,005,817	1,406	5,007,224	—	5,007,224
セグメント利益又は 損失(△)	639,113	△41,985	597,128	△232,896	364,232

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△232,896千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(公募増資)

当社は2020年10月2日付で東京証券取引所マザーズに上場いたしました。この株式上場にあたり、当社は、2020年8月27日及び2020年9月10日開催の取締役会において、下記のとおり募集株式の発行について決議し、2020年10月1日に払込が完了いたしました。

① 募集株式の種類及び数	普通株式 300,000株
② 発行価格	1株につき 670円
③ 引受価額	1株につき 616.4円
④ 払込金額	1株につき 518.5円 (会社法上の払込金額であり、2020年9月10日の取締役会で決定された金額)
⑤ 払込期日	2020年10月1日
⑥ 発行価格の総額	201,000千円
⑦ 引受価額の総額	184,920千円
⑧ 払込金額の総額	155,550千円
⑨ 増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額 92,460千円 増加した資本準備金の額 92,460千円
⑩ 募集方法	一般募集(ブックビルディング方式による募集)
⑪ 資金の用途	LiveMana事業の新築投資用IoTレジデンスの開発における建築資金並びにDayPay事業の運転資金及び立替資金として充ていたします。